

逮捕されたアーリカ人のチーピット・アビアック(36)

タイン印刷の「果たし林」

「一年前、ちひ屋で騎して西加茂の田舎へ来て、あんたはすぐ東さられたは、一〇日以内に七億円の借入金を渡す。」と馬鹿な動産を差し出しては儲けたのに。いやで、お金を渡す前に「お嬢ちゃんはまだも知らぬが、お嬢ちゃんの夫の不動産を信じて名義変更をお許してしまふ」と、その百姓は自分の子供に見合せた。

「火」された「いろは会」事務所

放火現場に、タイプ印刷の『果たし状』なるものがバラまかれて、逮捕された被疑者がアメリカ人、しかも彼は警察でハンストに突入——という事件が古都・京都で起つた。

そればかりではない。彼の真の相手は、放火した先のヤクザというよりも、どうやら警察そのものらしいのだ。そして彼の大義名分が日本武士道——とは、一体どうなつちやつてゐるの、と首をかしげたくもなる。さすがは京都、放火事件にまで奥

深いものが感じられる。

事件が起ったのは、3月16日未明。京都市上京区の博徒、会津小鉄会系いろは会（山田力会長、47才）組事務所前のボリ製ごみ容器が炎上、10分後、同市北区の山田会長宅正面玄関に積まれたわらも炎上して、門柱の一部が焼けた。

即、非現住建造物放火未遂容疑で逮捕されるところとなつた。彼は、一度は韓国へ逃げたが、日本の知人宅が家宅捜索を受けたと知り、迷惑がかかると思つて再来日した……と自供した。

表半はたらたら続き 警察はぐぐす調べ、マスクは市民と一緒に目を覆つてしまいほとんど弱い負傷者はのたれ死にしている。これは今の京都

の常識だといわれる。……だから君がその取れたお金をこの異
し状が君に届いてから三日以内
に全部返さないと真剣に決闘を
申し込む。この町の根性と侠客
の消滅によつて僕は味方になる

ところが両現場に「へいそは会のちび親分、山田力宛に」というタイプの“果たし状”が残されていたではないか。差出人は「ディイビッド・クビアック」とあり、内容は、山田会長は北区の乗馬クラブ敷地など7億円の不動産売買取引に介入、不正な利益をあげていて……というものだった。

不審者を見たという情報などから、京都府警は放火と断定、クビアックの行方を追及していく。するうち、19日午前、クビアックが一人で府警本部に出頭、

い様子で、毎日、壁に向かって黙想しているのである。

自殺ルボラング・ラスノク
・デイビッド・クビアック。36
才。住所不定。日本製の黒のは

ヘンな理屈

默想

クビアックの「放火事件」と
「ハンスト」を報じた新聞

放火は警察を動かすための
デモンストレーション?

「新聞に書かれているような理由でハシストをやっているのかどうかは、疑問ですね、はつきりしたことと言わないから、直

意がわかりかねるんです。大韓航空で韓国に行つてきたことは自供しており、ビザの書きかえなど言っていますが、7億円の土地詐取事件については目下捜査中です。いまの段階では

何も申しつけられません。え?
アメリカ大使館? 今のところ
問い合わせはありません』(西
陣警察署田当係官の話)

「何はともあれ、山下さんのことを聞いてみよう。」

軍鶏の武士道(?)とは恐れ入るが、クビアックがたまたま日本を離れている間に、山下さんが被害にあい、帰国した彼はビックリ仰天して……というわけなのだ。

「デイビッドは、小野さんという弁護士を紹介してくれました
が、間に立っているうち、事情
がわかつてきて、自分なりの判

7億円の詐取事件というのは、北区の山下牧場の経営者・山下良一さん(46)が、いろは会・山田会長知り合いの不動産会社

のT社長は、物場をたましとされたとして告訴している事件である。この山下さんがビリー・ザ・キッドならぬ、クビアックの親しい人物で、クビアックは義によつて今回の拳に出た――

「ディビッドがうちに来たの」
「何はどうあれ、山下さんの話を聞いてみよう。」

現在、焦げ跡を修復中の山田会長
5～6年前、京都で競走馬を育てている男がいるという私の新聞記事を見て、ふらっと訪ねて来たのが最初です。喋っているうち意気投合しちゃいまして、家に置いてくれと言うんで、馬の世話をさせたりしたんです」
ちなみに、クビアックには、インドに、インド女性の妻がいる。子もいる。

断での行動に出たと思うんです。

本心は、警察を動かすためでしょ。彼がご飯も食べずに抗議してくれていると思うと、私たち家族がノホホンとしていていいんだろうか、なんて思ってします」

実は、告訴はこの山下さんだけではなく、中京区の山下さんの親戚のAさんも同様に不動産会社のT社長を告訴しているのが、ここでは、山下さんの弁護士を引き受けた小野誠之弁護士に登場してもらおう。

「山下さんが詐取されたのは事実です。警察では、一つには、犯罪として成立するものかどうかということ、一つには、いろは会の山田会長がからんでいるかどうかということ……この二つで慎重なんですね。

しかし、Tは、山下さんとの

電話のやりとりで、はつきり山田会長に金が渡ったと言っています。山田会長の領収書のコピーモー

正義の味方のかもしれません。

放火され、田会長宅及び

夫も京都の治安を嘆いてた

きらいはあるにせよ、月光仮面（？）な

守で事情がわからない、と、本誌は留守番のおニイさんに、丁重に断わられた。

夫も京都の治安を嘆いてた

きらいはあるにせよ、月光仮面（？）な

守で事情がわからない、と、本

恐喝事件で逮捕されたが、この

総会屋と、料亭などで毎月第四

金曜日に懇談会を開いていたグ

ループ、ということで、何と、

当時現職の府警幹部らが名を連

ねたのだ。

記事内容は、京都政財界のフ

ィクサーと呼ばれるY氏につい

てのものだったが、要するに警

察や検察関係と太いバイブルがつ

ながっていることを示す内容で

ながついていた。

あつた。

この一事をもつてしても、今

回のディビッド・クビアックの

『果たし状』さわぎ、笑つてす

ますわけにはいかないのであ

る。もう一度、果たし状の中の

一部を引用しよう。

へ……行き当たりばつたりに一

〇〇人以上に「どうしてここ

市民は京都にこれほど暴力団が

ト出でてくる。こ

れは、昭和48年にある総会屋が

断での行動に出たと思うんです。

本心は、警察を動かすためでしょ。彼がご飯も食べずに抗議してくれていると思うと、私

ら家族がノホホンとしていていい

いんだろうか、なんて思ってし

まいます」

田会長に金が渡ったと言つて

ます。山田会長の領収書のコピーモー

もあるんです。

これらに対する警察の態度に

疑問を感じて、ついにディビッ

ドは放火したわけですね。もち

ろん、全焼させるつもりはなか

った、警察を動かすためのデモ

インストレーションだった、と言

うんです」

地元社会部記者によれば、山

田会長というのは、債権取立て

などで、凄い資産を残している

という。

また被告訴人のTは、京都銀

行の導入預金事件にからむ詐欺

など、執行猶予中の身だとい

うことだ。

どうやら、京都のビリー・

ザ・キッド』は、多少おつちよ

うございます。

京都の街はうらはら

い顔を持った

実は何も、今に始まつたことで

はないのだ。

およそ17

（18年前、ある新聞

）に答えて、あ

と/or

か、そのイメージと

、もう一つの『黒

闇』がある、と言わざるを得ない。

もう冬でもないのに、それこそ

京都は底冷えがする……。

のさばっているのに誰も殴り返さないのか」と問うてみたら、皆ほとんどが一声で答えたのは「……昔から京都の警察がやくざとあまりにも密着しているか

警察の取調べに第三者の立会人を要求

京都に住んでいるクビアックの友人は語った。

「彼は警察に対して不満を持っているんですよ。私にも『問題は警察だ。警察がヤクザを育てている』と言つてました。

いやア、山下氏の例の土地にある日、有刺鉄線が張りめぐらされて、馬が追い出されたらしいんですね。そのとき、ケガを因で5~6頭の馬が死んだんです。デイビッドはあとでそれを聞いて涙を流してくやしがつていたそうですよ」

「警察でない第三者が立会人でなければ、調べにも応じないし絶食もやめない」とイキマイ正在する。

当初、静観していた在日米国総領事館(神戸)も、「自国人保護」の立場から強い関心を寄せ始め、連日のよう警官や小野弁護士に電話をしてきていると

ら町民の誰かが立ち上がりても誰もお礼参りを防いでくれない。皆、家族のためを考え、挑める自身はだんだん萎縮してしまう」……

馬の追い出し(?)とは、何

やら西部劇そつくりの話になつてきたではないか。日本で一番スンでいると思われていた街は、西部の無法地帯だったのか。

こう見てくると、クビアックの行動を、西部の英雄氣どりとヒヤかしてばかりもいられなくなる。もしかしたら、彼が続けているというハンスト、思いもかけない出来事を引きぱり出していくかもしないのである。

クビアックは、留置場で、担当の小野誠之弁護士の説得も受けつけず、

猪野氏とは、ごく短い時間しか会えなかつたらしく、熱意に比して実りは少なかつたようだが、「侠客は消滅した」という

彼の認識、言いかえれば、かつては確かに侠客道なるものが存在し、それは武士道とも無縁ではなかつた——とする認識は、あながち幼稚だと退けられないものを含んでいます。

彼の書いた「果たし状」は日本人のだれもが持つて弱い弱点に突きつけられたものではないだろうか。



クビアックがハンスト中の西陣署

もつとも、山下良一さんによれば、クビアックは、妻がインド人だという関係から、ヨガの断食なども修行していく、山下家にいるときも、よく食べないことがあつたとか。

とすれば、警察が持てあまし健康を気遣うほどのことはないかも知れないけれども、それにして長引けば問題である。

更に、おしまいに一言してお

かなければならぬのは、彼の

言うところの日本武士道だ。

楠正成や軍鶴はさることながら、クビアックはとにかく本気らしいのである。実は去年の11月、彼は、「京都にいたのでは

ヤクザのことはわからない」と

言つて、暴力団問題を研究する

ため上京、評論家の猪野健治氏

を訪問している。